

丹沢・檜洞丸ハイク 山行報告

(山城) 丹沢

(コース) 西丹沢自然教室～ツツジ新道～檜洞丸～石棚山～箒沢公園橋～西丹沢自然教室

(日時) 4月23日(土) 6:45～14:05

(天候) 曇り(ガス・眺望悪) 微風

(参加者) (CL)佐藤、会員外(次男)

(山行タイム)

西丹沢自然教室 06:45—07:30 ゴーラ沢出合 07:40—08:45 展望台—10:05 檜洞丸(昼食) 10:50—11:55 石棚山—12:35 板小屋沢ノ頭—13:50 箒沢公園橋—14:05 西丹沢自然教室

累積標高 1200m、水平歩行距離 11.9km

(山行報告)

今回は5ヶ月ぶりに小4の次男との山行、中2の長男は部活が忙しくて付き合いが悪い。

朝3時発の予定が二度寝してしまい、慌てて次男を起こして支度をし、4時すぎに車で出発した。途中、海老名SAで少し休憩し東名・大井松戸ICで降りて西丹沢自然教室へ着いたのは6:30、うーん、道が空いていて助かったけど予定よりだいぶ遅い。

支度を整えて登山開始は6:45、予定より1時間ほど遅れた。沢沿いの道を上流へ向かって10分ほど歩き、ツツジ新道の登山口に入る。単調な緩いトラバースが続き、沢に下ったところがゴーラ沢出合。水量は少な目で難なく対岸に渡渉できた。少し休憩してエネルギーチャージし、いよいよ急坂を登る。標高750mから1500mまで、ほぼ登りっぱなし。ちょうど今の時期はツツジが満開、ところどころで赤紫色の綺麗な花があらわれなごむ。途中の展望台(ガスで展望なし)で休憩してさらに高度を稼ぐと木道が出てきて石棚山からの道と合流する。しばらくならかな木道、さらに階段を進むと標高1601mの檜洞丸(ひのきぼらまる)山頂に到着。空の一角には青空が見えるものの、ガスが広がっていて蛭ヶ岳や丹沢山は見えなくて残念。大きな富士山も見せたかったな。低めのテーブルに座ってジェットボイルで湯を沸かしてカップめんの昼食、山で食べると何でもおいしいね。山頂には続々と登山者が登ってくるが、ツツジが咲く時期なのに意外とご婦人が少ない。

たっぷり休憩をとった後、下山開始。ピストンではつまらないので分岐を左に、石棚山方面に向かう。ずっと緩い道が続いた先の石棚山で少し休憩、ここでシカの親子が出てきてご挨拶。ここから先は急坂がずっと続く。長いね、まだかな、疲れたなあ、早く温泉入りたいね、もうちょっとだよ、とか1時間強、やっと沢に出る。しばらく歩いて堰堤を越え、箒沢公園橋を渡って舗装道に出て出発地点に戻ってゴール。お疲れ様～！

帰路は温泉を求めてさまよった後、結局、鶴巻まで移動して弘法の湯に浸かった。帰りの道は最悪、高速で横転事故のため大渋滞、まともに帰れそうもなく、海老名SAで2時間ほど寝て渋滞解消してから帰葉した。行動時間は7:20、休憩時間を考えると想定より1時間以上早かった(標準コースタイムは6:45)。次男もずいぶん成長したなあ、と実感した山行だった。



こんな感じで舗装路を10分ほど歩くと・・・



檜洞丸・ツツジ新道の標識



しばらく沢沿いの単調な山道



ゴーラ沢の渡渉 降水時は増水しますのでご注意



ツツジが満開です





結構、急登が続く



ガスで眺望は悪い



青空が顔を出すけど一瞬だけ



檜洞丸山頂到着 1601m



長い木道・階段



登った道とは違う石棚山方面へ(左手)



石棚山を過ぎるとこちらもかなりの急坂、登り返しあり



やっと沢に出る



ゴール、お疲れ様でした。ずっとVサインだな、君は～